一般社団法人 神奈川県作業療法士会

神奈川県作業療法士会ニュース

2015年11月 No.176

Contents

巻頭言…… 1
TOPIC 新設部署紹介 …… 2
ー不定期連載！ぴぐめい編集長の突撃取材シリーズー
「新入会員オリエンテーション＆歓迎会に行って来たよ！！」… 4
理事会報告…… 6
連載　生活行為向上マネジメント…… 5
各部からの報告…… 8
27年度理事紹介―新体制後の各理事の紹介― ……10
TOPIC 第2回神奈川県臨床作業療法大会演題募集のお知らせ …10
求人案内……11
研修会案内……12
事務局からのお知らせ……12
編集後記……12

巻頭言

第二回　代議員選挙のお知らせ

秋風もすっかり冷たく、初雪の便りも間近に迫る昨今となりました。皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

現在、神奈川県作業療法士会の会員は1800人を超えています。会員の皆さまに、よりよい県士会活動を展開していただくために平成26年度より代議員制度が導入されました。今年で第一回代議員の2年の任期を終え、来年度に向け選挙が行われます。

そして、この度、代議員選挙に向け選挙管理委員会が結成されました。

井戸川　由　花（関東病院）
金　山　　桂（横浜YMCA学院専門学校）
大　郷　郁　美（新戸塚病院）
山　口　悠　里（特別養護老人ホーム恒春の丘自宅）
池　田　公　平（イムス横浜狩場脳神経外科病院）

上記の5名で代議員選挙に向けて、円滑な運営を進めてまいります。

第一回の代議員として、私も代議員総会へ参加させていただきました。まだ新米ですが、県士会活動を理解し、また県士会員としての所属意識も実感できました。さらに先輩方のご意見を聞ける場としても貴重な経験を得ることができました。

代議員制の目的は県士会運営の効率化と、また会員の皆さまの意見を着実に集め、県士会活動に反映させたいという意向も含まれております。また、代議員の役割は議決権の行使、議案の提出、議長団等が挙げられます。また、代議員のシステムとして代議員は政令指令都市（Aブロック）とその他の地域（Bブロック）の2ブロック制となっており、10月1日付の当士会在籍人数で代議員数が決定しました。

Aブロック定数35名
Bブロック定数25名　　合計60名

募集要項

任　　期　平成28年度～平成30年度の2年間

募集開始　平成27年12月1日（火）～
平成27年12月15日（火）消印有効

立候補方法　立候補届を県士会Webサイトでダウンロードし、県士会事務局まで送付またはFAXして下さい。

※なお、代議員はWebや県士会ニュースにて名前が公開されますので、ご了承ください。

募集終了後、選挙管理委員にて開票し、その後立候補者数に応じて、選挙・推薦者の受付を行っていく予定となっております。最終的には、2月中に代議員の決定をしてまいります。

選挙結果は速報にてWebで公開されます。また、随時、県士会ニュース・Webお知らせにて公開してまいりますので、ご確認をお願いいたします。

ぜひ、県士会のよりよい活動展開に向けて、立候補をしていただければと思います。たくさんの立候補をお待ちしております。

（文責：選挙管理委員会　委員長　井戸川由花）

新設部署紹介

新設部署の名称：制度対策部

制度対策部は、今回の県士会組織改編にあたり新設された部門です。従来の福祉用具対策委員会、社会制度対策委員会を部門内の班とし、事務局の中で機能していた災害対策に関して、災害対策事業班を設け、現在は３つの班で構成されています。制度対策部は業務の幅が広く、その責務の重さを痛感しています。担当理事として、率先してそれぞれの業務を行うというよりも、それぞれの班の業務がスムーズに実施できるようにしたり、作業療法士を取り巻く諸制度に対応するための新たな班を創造したりすることを役目と自負しています。

ここからのインタビューは各班長にバトンタッチします。

社会制度対策班

Q1. 班長の自己紹介をお願いします。

はじめまして社会制度対策班、班長の山根です。約10年間臨床を経験した後、現在は養成校の教員をしています。田舎育ちでおっとりしたところがありますが、精いっぱい皆様のお役にたてますように頑張っていきたいと考えております。どうかよろしくお願いいたします。

Q2. どのような班ですか？

社会制度対策班は、医療介護を中心とした作業療法士に関わる社会制度の情報発信を行う部署になります。会員への神奈川県作業療法士会ホームページ上での医療介護情報の情報発信や、作業療法に関わる社会制度に関する講習会などを実施していきます。

Q3. 今後の予定を教えてください。

社会制度対策班では、神奈川県士会ホームページでの情報発信を引き続き実施していきます。日本作業療法士協会から送られてくる情報を随時公開しております。また、今年度末に、平成28年度診療報酬改定に向けての講習会を実施する予定になっております。

Q4. 研修会などの予定を教えてください。

上記にもありますように、平成28年度診療報酬改定に向けて来年３月に講習会を実施する予定です。現在、診療報酬改定の情報収集しつつ、講習会の企画を検討しております。予定が決まり次第、県士会ニュースや県士会ホームページなどで会員の皆様にお知らせいたします。ご参加のほどよろしくお願いします。

Q5. 県士会員の皆様にメッセージをお願いします。

平成28年度診療報酬改定については現在、社会保障審議会､中央社会保険医療協議会での議論が進んでおり、年内には基本方針が策定され、３月中旬に診療報酬改定に係る告知、通知が表出される予定です。会員の皆様の施設でも対応策を準備していることと思います。われわれ作業療法士にとっても、利用者にとっても大きな影響を与えることになります。可能な限り速やかに、皆様に情報提供を実施していきたいと考えております。どうかよろしくお願いいたします。

福祉用具関連事業班

Q1. 班長の自己紹介をお願いします。

福祉用具関連事業班　班長の沼田です。用具が大好きなあまり先日福祉用具プランナーを取得してしまいました。まだまだ勉強中ではありますがそれらの知識も県士会活動に還元できればと思っております (^^)

Q2. どのような班ですか？

みなさんの福祉用具に関する疑問、質問にいろんな形でお応えします！

福祉用具に関する研修会として「PTOT福祉用具スキルアップ研修会」の開催、県士会ウェブサイト「これでエイド！」から情報発信、また会員さん向けに「福祉用具相談支援システム」で相談支援も行っています。ご興味あるかた、一緒に活動しましょう！

Q3. 今後の予定を教えてください。

11月・12月には「PTOT福祉用具スキルアップ研修会　上級編」開催決定！ウェブサイトの募集要項を

ちぇっく (..) φしてくださいね。
「これでエイド！」は内容の充実を目指し頑張って企画中です、お楽しみに (^^)

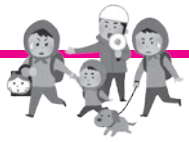
Q4. 研修会などの予定を教えてください。

11月8日、12月5日
PTOT 福祉用具スキルアップ研修会　上級編

Q5. 県士会員の皆様にメッセージをお願いします。

福祉用具は色々あってよくわからない…車いすくらいしか馴染みがないなぁ…そんなアナタ (` ー ´) ノ 『安心してください　福祉用具班がついてますよ』

災害対策班



Q1. 班長の自己紹介をお願いします。

どうも、班長の大郷和成です！新戸塚病院の副技士長として働いていましたが、今年の9月より NPO 法人 Laule’a の副理事長として新たなスタートを切りました！現在は藤沢市辻堂で障害児のデイサービスを展開しています。

Q2. どのような班ですか？

これまで、県外における災害等を中心に、仮設住宅や被災地域における生活再建の支援については、行政や日本作業療法士協会などの要望の都度、人員派遣等で対応してきました。今後、県内においても発生が予測される東海地震、南関東地域直下の地震等の大規模な災害や局地的な風水害、大規模な事故などの局地災害に備え、ＯＴとして、被災した地域の生活再建を後方支援する組織の必要性が高まっています。それらを鑑み、災害時には本会会員と多職種および各行政機関などとの速やかな連携を図れるように活動しています。

Q3. 今後の予定を教えてください。

日本作業療法士会の取り組みや他の団体の取り組みなどの情報を収集することと、県内の関連団体との情報交換と連携の模索を行っていきます。

Q4. 研修会などの予定を教えてください。

まずは理事役員、代議員向けに現状を伝達することを考えています。

Q5. 県士会員の皆様にメッセージをお願いします。

地域で活動する OT が増えると災害時に活動できる OT も増えると思います。病院や施設などに勤めながらも地域や災害時に活動することは可能です。私たちの強みを活かして社会に貢献していきましょう！協力して頂ける方は県士会までご連絡下さい！

最後に担当理事から一言

作業療法士を取り巻く諸制度は目まぐるしく変化しています。われわれ自身のために、そして制度を利用される患者さん、利用者さんのために我々は熟知する必要があります。まずは正確な情報の発信から、そして将来的には作業療法士の新たな役目や制度について提言できるような部門をめざして頑張ります！どうぞよろしくお願いいたします。

（文責：野本義則）

●福祉用具相談システム　http://www.jaot.info/
●福祉用具班ブログ これでエイド　http://kana-ot.jp/wpc/at/
●社会制度対策班 医療・介護情報ブログ　http://kana-ot.jp/wpc/s-security/post/443

― 不定期連載！ぴぐめい編集長の突撃取材シリーズ ―
『新入会員オリエンテーション＆歓迎会に行ってきたよ！！』

どうも！編集長のぴぐめいです。去る10月11日(土)に横浜リハビリテーション専門学校で開催された福利部主催「新入会員オリエンテーション＆歓迎会」に参加してきました！これは毎年福利部が主催で行っている新人向けイベントであり、新人の方の県士会活動の理解と親睦を図るために開催されています。今年は現職者共通研修の終了後にすぐ引き続いての開催となりました。

1年目の方は25名の参加があり、加えて2年目から10年目の方も合わせて9名の参加がありました。理事・役員は錠内会長、中西・澤口両副会長に加え、福留事務局長、教育部奥原理事、学科評議委員会内山理事、広報神保理事、認知症対策委員会村越理事、地域リハビリテーション部遠藤理事、制度対策部野本理事、福利部吉本理事、そして私ぴぐめいの12名が参加しました。

歓談だけでなく福利部の方の進行で各部門紹介や理事の自己紹介などが行われました。理事への質問タイムでは参加者の方の振るサイコロであらかじめ決まっている質問が選択されるのですが、「給料はいくらですか？」などのきわどい質問も(笑)。

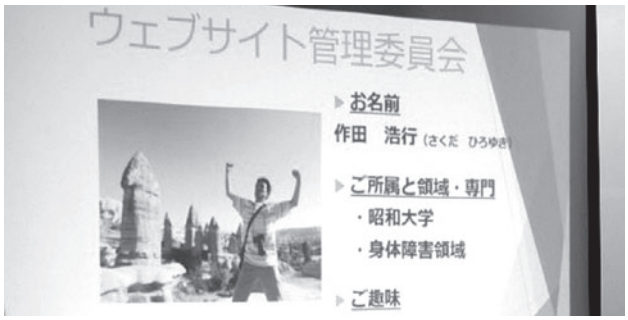
終了後には場所を移し2次会も開かれ、さらなる親睦が深まった東戸塚の夜でした。

最後に企画運営してくださった9名のみなさんをご紹介させて頂きます。企画・運営有難うございました＆お疲れ様でした！

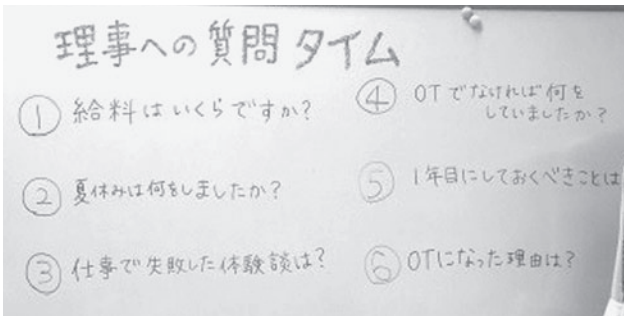
福利部理事　吉　本　雅　一さん(湘南鎌倉総合病院)
鈴　木　　智さん（クローバーホスピタル）
西　村　彰　紀さん（湘南鎌倉総合病院）
安　部　智　子さん、村　島　由　佳さん
(鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院)
畠　中　佳代子さん（藤沢市民病院）
加世田　　翼さん（かんリウマチ整形外科クリニック）
勝　山　基　史さん、梅　田　洋　平さん(生田病院)

錠内会長の「乾杯！」

各理事から各部紹介と新人の方へのメッセージがありました！



スライドによる理事紹介



なかなか答えにくい質問も…

これが質問を決める
運命のサイコロ

主催の福利部　吉本　雅一理事

ぴぐめいも取材に奮戦！あかんデジカメの
メモリーがいっぱいやー (-_-;)

連載

生活行為向上マネジメント

生活行為向上マネジメントとは？

生活行為向上マネジメントを英語表記するとManagement Tool for Daily Life Performance となります。生活行為向上にあたる部分がDaily Life Performanceであり、今まで我々が使用していた「作業」とほぼイコールとなります。なぜ「作業」を使用しないのか？という疑問もあるかと思います。それは日本語の「作業」がもつイメージがあまりにも限定的で「何かを作る」「手作業」を連想させてしまうことから、我々が扱う「作業」を国民にとってわかりやすく表現した言葉を使用することになりました。

“「生活行為＝作業」をマネジメントするツール”

要するに「作業療法士の思考過程をツールにして見える化したもの」とご理解いただくのが単純で明解かと思います。

生活行為向上マネジメントの最重要ポイントは、目標設定にあります！！

今までの作業療法プロセスでは、我々が評価した結果、対象者に必要と思われる生活行為（作業）を選択していたと思います。ところが生活行為向上マネジメントにおいては、対象者が「やりたい！」「大切だ！」「重要だ！」と思う生活行為（作業）を初めの目標とします。

ご本人が「やりたい！！」と思っている生活行為（作業）ですから、当然ご本人のモチベーションは高くなります。病気や怪我をする前と同様には出来ないかもしれませんが、方法や道具の工夫により、諦めかけていた本当に重要で意味のある生活行為の達成は何物にも代え難い瞬間です。

しかしながら、作業療法士は対象者の「やりたい」と思っていることだけ支援すればいいのか？と誤解を生じかねません。ですから、あくまでも最初の目標でありアプローチの切り口はご本人がやりたいと思う生活行為で、その他の重要な生活行為も一緒に向上していただくことを目指しております。

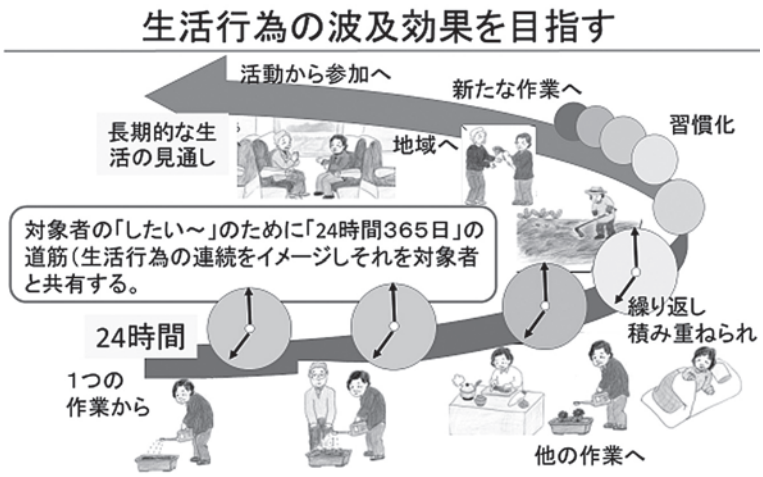
下記は、生活行為向上マネジメントの用語の説明と上記説明を図式化したものを掲載しております。

（文責：木村修介）

次号
生活行為向上マネジメントの流れとツールの紹介

生活行為向上マネジメントの用語整理：関連用語

用　語	定　義
生活行為	人が生きていく上で営まれる生活全般の行為と定義する。セルフケアを維持していくためのADLの他、IADL、仕事や趣味、余興活動などの行為全てを含む。 作業療法関連用語解説集改定第２版、2011、P65より引用
生活行為向上	各生活行為について利用者が本来持っている能力を引き出し、在宅生活で実際にその能力を生かすこと、もしくは生かされる身体的・精神的な支援を行うこと
生活行為向上マネジメント	生活行為向上を図る為に必要な要素を分析し、改善の為の支援計画を立てそれを実行すること。



理事会報告

平成27年度　第2回　一般社団法人神奈川県作業療法士会理事会　抄録

日 時　平成27年9月10日（木）19：00 ～21：18　　場 所　神奈川県作業療法士会事務所

出席理事：錠内、中西、澤口、福留、佐藤、奥原、吉本、遠藤、野本、作田、内山、名古屋、木村、村越
欠席理事：鈴木、鴻井、野々垣、神保　　**出席監事**：田中　　**欠席幹事**：清宮
そ の 他：出口（広報部：ニュース編集班）、三森（web サイト管理委員会：ＨＰ担当）、
大郷（制度対策部：災害対策班）、金山・白鳥・平山（事務局：書記）

●報告・検討事項

1．事務局（福留事務局長）

⑴報告事項

1)渉外

・第 26 回全国介護老人保健施設大会　神奈川 in 横浜　大会　開会式御臨席依頼→出席：錠内会長

・医療専門職連合会第 128 回定例理事会
日時：9 月 29 日（火）18:30 ～
場所：神奈川県ＯＴ士会事務所

・神奈川県医師会より　役員改選のご挨拶と新役員就任披露の会→出席：錠内会長・福留事務局長

・神奈川県病院医療関係団体連絡協議会
日時：9 月 16 日（水）16：00 ～会議
17：40 ～懇親会
場所：英一番館→出席奥原理事・野々垣理事

・第 3 回 47 都道府県委員会→出席：錠内会長・村越理事

2)行政および職能団体関連
神奈川県病院学会 10 月 19 日（月）　運営協力→４名派遣。錠内会長が座長として出席。

3)後援名義使用依頼済み

・第 31 回日本義肢装具学会学術大会の後援依頼→承認

・第 19 回医療健康フェスティバルの後援依頼→承認

・湘南リハケア 2015 への後援→承認

・神奈川県総合リハビリテーション事業団「かなりはフェスティバル 2015」協賛名義依頼→承認

・第 14 回神奈川県介護支援専門員研究大会の後援依頼→承認

⑵審議事項

1)再入会の審議　１名の再入会→承認

2)代議員選挙の件

・選挙管理委員（5 名井戸川由花；関東病院、金山桂；横浜 YMCA 学院専門学校、大郷郁美；新戸塚病院、山口悠里；特別養護老人ホーム恒春の丘、池田公平；イムス横浜狩場脳神経外科病院）を選出→承認

2．財務部（佐藤理事）

⑴報告事項

1)会計・研修会開催マニュアル説明会終了
7 月 17 日：９名参加、8 月 4 日：６名参加、
8 月 5 日：４名参加
＊会計ファイルは毎月事務局と財務に送ること、研修会の報告は研修会後 1 週間以内に実施することを確認。

2)中間監査予定　10 月 24 日（土）午後 2 時～県士会事務所

⑵審議事項

1)県士会会計処理の流れについて　変更点説明あり。県助成事業は基本的に担当部門の一つの事業として監査を行うが、金銭の流れが明確になるように通帳を分けていくことを確認する。

3．学術部（福留事務局長が代理で報告）

⑴報告事項

1)スキルアップ研修事業（講習会）
７つの講習会を企画及び準備中

⑵審議事項

1)編集委員の承認→学術誌事業の編集委員を 9 名承認

4．教育部（奥原理事）

⑴報告事項

1)県士会主催研修会開催に関して〈ポイントシールについて〉→奥原理事より説明。

2)OT 協会教育部生涯教育委員会生涯教育制度推進担当者会議に関して
平成 27 年 10 月 3 日（土）､4 日（日）開催予定。
出席：奥原理事。

5．広報部（ニュース班長 出口が代理で報告）

⑴報告事項

1)175 号（9 月発刊）発送予定９月２６日。

2)対外広報班の活動予定

・横浜のヒューマン＆テクノランド

・ハロー横浜→医療職連合会のブースの中で OT の代表として参加予定

6．福利部（吉本理事）

⑴報告事項

1)求人・求職の登録および情報提供→新規：のべ 49 件、変更:のべ 2 件、削除:4 件、問い合わせ:3 件

2) 新入会員オリエンテーション＆歓迎会
日程：10 月 10 日 (土)16 時半～
場所：横浜リハビリテーション専門学校地下 1 階

3) 職場見学会
2014 年度第 1 回職場見学会（身体障害領域編）
→みどり野リハビリテーション病院　参加者：5 名

⑵審議事項

1)部員の承認について→ 1 名承認

7．地域リハビリテーション部（遠藤理事）

⑴〈報告事項〉

1)研修会報告

・第５回多職種合同研修　作業療法士１７名参加
2)研修会企画
・地域リハビリテーション人材育成研修会
平成 27 年 10 月 25 日（日）
・ALS 者のコミュニケーション支援講習会
開催日：未定
3)神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会研修報告
神奈川県ネットワークミーティング
4)神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会研修企画
・神奈川県訪問リハビリテーション実務者研修会
開催日:平成 27 年 11 月 14 日(土)～15 日(日)
・神奈川県訪問リハビリテーション学術集会～とことん地域密着 !!100％県民還元～平成 28 年 1 月 9 日 (土)
3)その他
・神奈川県介護予防従事者研修について→介護予防従事者研修を昨年同様に OT 士会協賛で参加
・横浜市地域リハビリテーション活動支援事業→港北区と磯子区がモデル地区。来年度は横浜市全区行う。今年度は木村理事が対応する。

8．制度対策部（野本理事）

⑴報告事項
1)PTOT 福祉用具スキルアップ研修会基礎編→ OT 参加者 9 名
PTOT 福祉用具スキルアップ研修会上級編→ 9/14 募集開始予定。1 日目 11 月 8 日（日）、2 日目 12 月 5 日（土）開催予定
2)国際福祉機器展「ふくしの相談コーナー」協力に関して。→班内から人員を派遣予定。
3)東京都を含む首都圏で広く行われる政府広域医療搬送訓練に関して→ＪＲＡＴ神奈川支部より、上記訓練に人員派遣要請あり、大郷災害対策班班長が参加した。

9．ウェブサイト管理委員会（作田理事）

⑴報告事項
1) 県士会サイトの管理とアクセス件数の報告

10．学会評議委員会（内山理事）

⑴報告事項
1)第 2 回神奈川県臨床作業療法大会　第 4 回実行委員会報告→準備期間の予定を報告。
⑵審議事項
1)部員の承認→ 1 名承認

11．公益法人化対策委員会（名古屋理事）

⑴報告事項
各理事向けに公益法人化についての勉強会実施していく。

12．MTDLP 推進委員会（木村理事）

⑴報告事項
1)研修会開催予定→事例発表　1 月 31 日（日）
3 月 6 日（日）
2)研修会開催報告
基礎 A:6 月 5 日(金)参加者 7 名､7 月 24 日(金)参加者 12 名
基礎 B:8 月 9 日(日)参加者 18 名､8 月 22 日(土)参加者 14 名、8 月 23 日（日）参加者 15 名
演習 1 :6 月 26 日(金)参加者 11 名､8 月 7 日(金)参加者 7 名、
演習 2 :7 月 3 日(金)参加者 12 名､8 月 21 日(金)中止
演習 3 :7 月 17 日(金)参加者 8 名､8 月 28 日(金)中止
基礎研修会：7 月 4 日（土）参加者 35 名、7 月 25 日（土）参加者 51 名、8 月 8 日（土）参加者 57 名
事例作成研修会；9 月 4 日（金）参加者 41 名
3)加算要件の確認　生活行為向上リハビリテーション加算の要件として OT の場合は生活行為向上マネジメント概論（90 分）＋演習（330 分）で基礎研修修了する。今後は基礎研修修了後 1 年以内に事例投稿もしくは事例発表することで実践者研修修了となる。また､来年度（H28 年度）以降、「生活行為向上マネジメント研修会」に統合していく。熟練者は指導者に名称変更することになった。
4)OT 協会のグランドデザイン
H28 年終了時までに達成する目標の再確認　基礎研修修了者を会員数の 60％、実践者研修修了者を会員数の 30％、指導者を会員数の 5％とする。現在（8 月 31 日時点）の神奈川県士会の基礎研修修了者数は 241 名（13.7％）である。
⑵審議事項
1) 研修会の追加開催について→承認。2 月 7 日、3 月 19 日予定。
＊生活行為向上マネジメント参加者は年 2 回各都道府県の参加者数が報告される。神奈川県は参加者が伸び悩んでいるため今後も強めていきたい。

13．認知症事業対策委員会（村越理事）

⑴報告事項　＊三役会で話したことを福留事務局長が村越理事に伝えていく。
⑵審議事項
1)委員会（部会）の運営委員の確保→エリア部員など、地域ごとの情報を持っている人材を幅広く集めていきたい。今後研修会などで募集していく。

各部からの報告

教育部

県士会ウェブサイトから質問ができます！

連載「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」

「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」は、生涯教育制度関連の情報を毎号少しずつお伝えしています。

今後の生涯教育制度関連の研修会

1．**現職者選択研修**：生涯教育制度の必須基礎研修です。領域別（身体、精神、発達、老年期の４障害領域）の研修で、一領域：90 分×４コマの受講が必要です。また「この先生の話が聴きたい！」というコマ単位での受講も可能です。今年度は、「精神障害領域」、「身体障害領域」を開催します。詳細は今号チラシ、県士会ウェブサイトをご覧ください。
・精神障害領域　2016 年１月 31 日（日）ウイリング横浜
・身体障害領域　2016 年２月 11 日（木・祝）ウイリング横浜

2．**現職者共通研修「事例検討」と「事例報告」**：2016 年２月 21 日（日）　ウイリング横浜
前号ニュースでご案内しました。県士会ウェブサイトにも掲載しています。
ぜひお申し込みと事例報告へのチャレンジを！

3．**11 月 23 日（月・祝）の現職者 共通研修（「実践のための作業療法研究」、「保健・医療・福祉と地域支援」、「日本と世界の作業療法の動向」）**：申し込み受付中です（本ニュース発行日により終了後の場合にはお許しください。県士会ニュース同封チラシ、ウェブサイト参照）。

生涯教育制度に関して何でもご相談、ご連絡ください。県士会ウェブサイトからも質問ができます。

教育部 奥原孝幸（神奈川県立保健福祉大学）
045-828-2738（直）、kyoiku @ kana-ot.jp

ウェブサイト管理委員会

県士会サイト公式 Facebook に「いいね」を！

1．県士会サイトへアクセスする　http://kana-ot.jp
2．ご自身の Facebook にログインした状態で最上部左側の「F」マークをクリック
3．上部ヘッダーどこかにある「いいね」をクリックする

《県士会サイト公式 Facebook による情報提供》
・県士会サイトの更新情報
・ネットの気になるニュース
・県士会ブログの更新情報
・などなど

（文責：ウェブサイト管理委員会）

広報部

一般市民への啓発活動

①ヨコハマ・ヒューマン＆テクノランド 2015
　ブース出展参加

活動内容：作業活動（和紙のしおり）の体験、パンフレット配布、個別相談

今年も横浜市リハビリテーション事業団が主催するリハビリイベントに参加しました。OT を知らない方から知っている方、老若男女様々な来場者層で賑わいました。

このイベントでの当士会ブースでは、作業活動を通しながら「作業療法」の視点や魅力を伝えたり、活動中の会話から介護の相談やリハビリ志望の学生の相談などを行っています。

相談内容は多岐にわたり、「広報の腕の見せ所」です。わかりやすく・魅力ある作業療法を伝えられるよう活動内容を研鑽しながら継続していきたいと思います。

制度対策部 災害対策班

「大規模地震時医療活動訓練に参加してきました！」

９月１日に行われた政府による大規模地震時医療活動訓練に制度対策部災害班の大郷和成が参加してきました。県士会としてこのような訓練に参加するのは初めてです。今回はＪＲＡＴ（大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会）の神奈川支部として、神奈川県理学療法士会、神奈川県言語聴覚士会との合同参加でした。

今回の訓練は、発災が前日の設定であり、メンバーで集合して等々力競技場内に設置された川崎市災害本部へ行くことから始まりました。川崎市本部からは川崎区役所へ移動し、川崎区保健福祉センター医療衛生班で情報収集を共同することを任命されました。そこで、避難所を６ヶ所巡回してくることを指示され、区役所職員と一緒に避難所を巡回。避難者の最低限の生活すら守られていない避難所も少なくなく、そのような中での情報収集や支援内容の決定などはとても難しいものでした。訓練終了後の振り返りでは、災害訓練のコーディネーターより、「発災直後に専門性を前面に出されても困る。必要とされる情報を集めたうえで、専門職の視点からアドバイスが出来ると良い。今回は良い動きが出来ていたと思う。」とのコメントを頂けました。

今回の様な大規模訓練にセラピストが参加することは全国の中でも初の試みであり、自分達で考えて行動することが多く求められ良い経験となりました。発災直後から必要とされる行動、専門職である自分達に求められること身をもって実感することができました。また、区役所職員と一緒に参加できたことで、セラピストが災害時にどの様なことを提供できるのかというアピールに繋げることができ、今後の行政との連携を強める機会となりました。

今回の訓練を通して県士会として取り組むべき課題もありますが、今後も県士会や他団体とともに、迫りくる災害に備えていきたいと思います。

（文責：制度対策部　災害対策班　大郷和成）

②ハローよこはま 2015 に医療専門職連合会として出展参加

活動内容：認知機能検査体験、パンフレット配布、個別相談

横浜市で開催された第 40 回中区民祭り「ハローよこはま 2015」に出展致しました。今年も東日本大震災の復興支援ブースなど様々企画が出展され盛況な催しとなりました。

このイベントでは医療専門職連合会として出展しています。神奈川県栄養士会、臨床検査技師会、放射線技師会、臨床工学技士会、理学療法士会が参加しており、「医療・健康に関連するブース」としてパンフレット配布、体験企画を行いました。当士会では県士会パンフレットの配布や高次脳機能検査の模擬体験コーナーを設置し、多くの方に作業療法を紹介させていただきました。

模擬体験では高次脳機能検査の TMT を簡便にアレンジしたものを「体験版」として使用（上記の旨は説明して導入しています）したところ、親子で参加や、ご年配のご夫婦でチャレンジするなど、ご自身の能力を試したいと多くの方が挑戦してくださいました。また、身体のことで日々努力している点や健康維持に関する質問の他、介護の経験がある方から自らの体験談やリハビリ・介護に関する質問も頂きました。

今後も作業療法を広く知っていいただけるよう広報活動を続けていきたいと思います。

広報部対外広報班では一般県民・関連職種・学生に向けた様々な対外広報活動を行っています。一緒に活動にご協力くださる方（特に精神領域・発達領域に従事している会員の皆さま）をお待ちしています。ご興味ある方は事務局までご連絡下さい。よろしくお願いいたします。

（文責：対外広報班　酒井）

27年度　理事紹介 ― 新体制後の理事の紹介 ―

前号でご紹介できなかった理事にご登場いただきました！

規約委員会

昭和大学
鈴木　久義

規約委員会を担当いたしております鈴木久義と申します。

規約委員会は本会の定款と諸規則・規程の管理を主な業務としております。定款や諸規則・規程というのは言わば本会の組織としての土台のようなものでして、その管理は非常に重要な業務です。

新入会員の皆様を始め、若い方々のお力を頂戴して、本会の益々の発展のために努力を重ねて参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

第２回 神奈川県臨床作業療法大会 演題募集のお知らせ

大会実行委員会企画演題担当
さがみリハビリテーション病院
佐藤　　隼

会場　藤沢市民会館

こんにちは。第２回神奈川県臨床作業療法大会企画演題担当の佐藤です。前号の県士会ニュースでもご案内した通り、第２回神奈川県臨床作業療法大会を開催致します。会場が藤沢市民会館と決定し、日程が 2016 年８月７日（日）と変更になっております。

本大会は 2012 年の第１回開催に続き今回で２回目となり、歴史は浅いがゆえにこれからの可能性に期待される大会であります。現在、遠藤大会長のもと、『 作業療法士の してん　～視点・支点・始点～ 』というテーマに沿って着々と準備を進めております。若手からベテランまで共通して学習することができる教育講演や症例発表、県民にとって作業療法が身近に在ることを感じていただく公開講座などを企画しており、まだまだ検討段階です。作業療法士の成果を発表する口述発表に関しては 15 演題募集させていただくことが決定しております。

私も思い返せば８年前、入職して３年目の春に人生で初めての学会発表を経験しました。他人事と思っていた学会発表でしたが、先輩の勧めとサポートによって実現することができました。発表までの準備は確かに様々な苦労もあって緊張もしましたが、それよりも発表後の達成感と新たな探究心を感じたことが強く記憶に残っております。今では本当にいい機会だったと振り返ることができます。自身の成果を表現することによって、それに対して興味を持つ仲間が生まれ、新しい思考が発展していきます。本大会では経験年数に関係なく県内の作業療法士たちがともに視点を広げ、支え合い、次へのステップを踏み出し合える環境を作っていこうと私たち実行委員も考えております。

診療報酬・介護報酬の動向から見ても作業療法への期待は高まってきており、その期待に応えるためには成果の『見える化』が必要となります。日頃からのシングルケースはもちろん、調査研究、革新的な取り組みの報告でも構いません。思い立ったら吉日です。多病期・多領域に関わる作業療法だからこそ、多くの立場が集まって効果を検証し合えればと思います。

本大会では基本的に口述発表での演題募集となっております。演題登録につきましては電子メールによる方法をとり、募集期間は平成 27 年 12 月１日～平成 28 年３月 31 日を予定しております。近々、ホームページや県士会ニュースで演題募集要項等の詳細を改めてご案内致します。皆様のご応募を心よりお待ちしております。

求人案内

作業療法士募集　医療法人社団青葉会介護老人保健施設 牧野ケアセンター

募集人員：常勤　2名
施設概要：入所 150 床（うち認知棟 50 床）　通所 50 名
給　　与：当法人規定により優遇します。
福利厚生：各種社保完備、退職金制度有、職員寮有、保育室完備、車通勤可
勤務時間：8：30 ～ 17：00
休日休暇：年間 111 日
応募方法：電話連絡の上、履歴書を持参又は下記宛に郵送してください。
交　　通：JR 横浜線「鴨居駅」下車
横浜市営バス 36 系統　約 10 分
「小川橋」より徒歩 5 分

問い合わせ先
〒 221-0864　横浜市神奈川区菅田町 1481-1
TEL：045-472-9111　FAX：045-472-9136
E メール：j_fujikawa@tmg.or.jp
URL：http://www.tmg.or.jp/makino_care/
担当：藤川

作業療法士募集　医療法人社団のう救会 脳神経外科東横浜病院

募集人数：常勤　若干名
募集内容：病気の発見から治療まで一貫した医療体制の脳神経外科救急病院です。脳血管疾患を中心に急性期リハビリテーションをご担当いただきます。
施設概要：一般病床 60 床
待　　遇：当院規定により優遇。経験年数加算。
福利厚生：各種社会保険、退職金制度あり。
勤務時間：8：30 ～ 17：15
休　　日：週休 2 日
応募方法：電話連絡のうえ、履歴書を郵送してください。

問い合わせ先
〒 221-0863　横浜市神奈川区羽沢町 888 番地
TEL：045-383-1121（代表）　FAX：045-383-7138
担当：総務課　杉野森
E メール：suginomori@noukyukai.or.jp
URL：http://noukyukai.or.jp

作業療法士（正社員・パート）募集　医療法人社団厚済会 横浜じんせい病院

港南中央駅より徒歩 2 分の病院です。

給　　与：[正] 190,000 円～ 445,000 円
[パ] 1,500 円～ 2,000 円
経験・能力による
時　　間：[正] 8：30 ～ 17：30（休憩 1h）
[パ] 週 1 ～ 5 日程度の勤務
休　　日：シフト制（月間 8 日～ 9 日）、年間休日 120 日
待　　遇：社会保険完備、昇給年 1 回、賞与年 2 回、退職金・研修の各制度あり、給食費補助・年末年始手当あり、有給休暇、交通費全額支給、個人寮完備
勤 務 地：横浜じんせい病院　横浜市港南区港南 3-1-28
応　　募：電話連絡の上、履歴書（写真貼付）をご郵送ください。書類選考の上、こちらより折り返しご連絡します。

問い合わせ先
横浜市港南区上大岡西 1-10-1　医療法人社団厚済会
TEL：045-840-3637
担当：総務課
URL：http://www.kousai.or.jp
E メール：jinji@kousai.or.jp

作業療法士募集　医療法人興生会 相模台病院

募集人員：1 名
応募資格：作業療法士免許をお持ちの方
待　　遇：常勤職員（新卒可）
給　　与：経験により考慮いたします
手　　当：交通費全額支給・住宅手当・家族手当
勤務時間：月～土　8：45 ～ 17：15
休　　日：4 週 8 休（日・祝日休み）
応募方法：履歴書（写真貼付）・職務経歴書送付

医療法人興生会 相模台病院 Sagamidai Hospital

問い合わせ先
〒 252-0001　座間市相模が丘 6-24-28
小田急線　小田急相模原駅　南口から徒歩 15 分
TEL：046-256-1047（人事課直通）
E メール：humres228@sagamidai.or.jp

研修会案内

食べる力は生きる力

主　催：保健医療福祉系専門職のためのブラッシュアップセミナー
日　時：2015 年 11 月 28 日
場　所：昭和大学横浜市北部病院西棟 4 階
E-mail：matsuyama@ofc.showa-u.ac.jp

家族と支える、家族を支える

主　催：神奈川県作業療法士会　学術部
日　時：2015 年 11 月 29 日（日）
　　13：30 ～ 16：30（13：00 受付開始）
場　所：福祉保健研修交流センター
　　ウィリング横浜（11 階　多目的室）
ＵＲＬ：http://www.yokohamashakyo.jp/willing/

本当にあった怖い話 症例で学ぶ呼吸・循環アセスメント 80

主　催：一般社団法人日本離床研究会
日　時：日時：2015 年 12 月 12 日（土）
　　10：00 ～ 16：10
場　所：全労連会館（東京都文京区）
ＵＲＬ：HP: http://www.rishou.org/

『機能解剖に基づく上肢の評価と治療』 目白大学教授　矢崎潔先生

主　催：NDK 横浜研修
日　時：2016 年 1 月 10 日（日）
　　10：30 ～ 15：30
場　所：横浜市スポーツ医科学センター大研修室
ＵＲＬ：http://ndkyokohama.net/

第 3 回日本臨床作業療法学会学術集会

主　催：日本臨床作業療法学会
日　時：2016 年 3 月 18 日（金）～ 19 日（土）
場　所：東京工科大学蒲田キャンパス
ＵＲＬ：http://sagyou.upper.jp/index.html

事務局からのお知らせ

来年度の休会届は 2015 年 12 月 31 日までとなっております。休会予定の方は必要書類を同封の上、お早目に郵送にてご提出下さい。必要書類の確認と届出用紙のダウンロードは県士会サイトにてできます。

編集後記

いつもご愛読ありがとうございます。朝晩寒くなってきましたね (^_^;) 今年もあと 2 ヶ月になりました！ 疲れも出る時期かもしれませんが、間違えのないように過ごしましょう！！
県士会ニュースは見納めですので、一足早いですが皆様良いお年を～！！
また来年も宜しくお願い致します♪　(Rex.h)

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ニュース　〈176 号〉2015 年 11 月発行（年 6 回発行）

発行責任者　錠内 広之
編集責任者　神保 武則
編 集 担 当　出口 弦舞（国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科）
　　山岡 洸／桜井 大和（佐藤病院）
印刷　発送　株式会社髙陽印刷所
事　務　局　〒 231-0011 横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301 号　TEL/FAX：045-663-5997
　　月火水木金　10：00 ～ 15：00　メールアドレス：jimu@kana-ot.jp
一般社団法人　神奈川県作業療法士会ウェブサイト　http://kana-ot.jp ➡ 作業療法　神奈川　検索
　　Facebook　https://www.facebook.com/kaotwebkan
　　Twitter　https://twitter.com/kaotwebkan